本院に脆弱性骨盤骨折で受診された方へ

徳島県立三好病院では、下記の臨床研究を倫理審査委員会の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願い致します。
この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担（費用や検査など）は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。
この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

【研究課題名】
脆弱性骨盤骨折の臨床成績と予後因子の検討　前向き観察研究

【研究の背景と目的】
脆弱性骨盤骨折は近年増加しており、受傷後 ADL を低下させるにも関わらず、未だに明確な治療方針が定まっていません。そのため、初療にあたる整形外科医の判断で治療していることが多いですが、適切に治療しなければ健康寿命や生命予後に影響を与える可能性があります。
脆弱性骨盤骨折の臨床成績を評価し、その臨床成績に影響を与える因子を明らかにすることが研究の目的です。本研究結果は健康寿命の延伸、再骨折の予防、予後改善のための基礎的なデータとなることが期待されます。

【研究の方法】
1．研究の対象
2023 年 7 月 19 日から 2025 年 8 月 1 日までに徳島県立三好病院を受診した、脆弱性骨盤骨折の症例とします。予定症例数は 50 例とします。

2．研究に用いる試料・情報の種類
通常診察範囲内のデータのみ（性別、生年月日、身長、体重、診察記録、CT・MRI の画像検査など）を使用します。

3．外部への試料・情報の提供
該当なし

4．研究結果の公表について
本研究の結果の一部または全部を学会、雑誌など外部に発表する場合には、特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で研究責任者の責任のもと取り扱います。

5．研究資金および利益相反管理について
本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。

【研究組織】

・研究責任者：大歯浩一　徳島県立三好病院整形外科　部長
　TEL：0883-72-1131　　FAX：0883-72-6910

・研究分担者　和田佳三　准教授　徳島大学病院　整形外科

・研究事務局
　徳島県立三好病院　整形外科
　データ管理者　高松信敏
　　TEL：0883-72-1131　　FAX：0883-72-6910
　　Email：miyoshibyouin@pref.tokushima.jp

【個人情報の取り扱い】

個人情報は匿名化されて取り扱われます。
患者さんのデータに番号をつけて匿名化を行います。患者さんと番号を結びつける対応表を徳島県立三好病院　整形外科で作成し、個人情報管理は外部に漏れないように厳重に保管いたします。
個人情報管理者：徳島県立三好病院　整形外科　医員　高松信敏

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧できますのでお申し出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

　照会先および研究への利用を拒否される場合の連絡先
　　徳島県立三好病院　整形外科　高松信敏
　　TEL：0883-72-1131　　FAX：0883-72-6910
　　Email：miyoshibyouin@pref.tokushima.jp